

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (1-7)

団体名	一般社団法人神戸健康大学	代表者名	(職名) 理事長	(氏名) 岡田昌義
事業名	健康寿命延伸セミナー の開催			

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」「毎 ○曜日」等で記入	場所	参加者 一般(スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
5年6月17日	レンタルスペース ジェム	60名 (8名)	第28回健康寿命延伸セミナー
			演者1 国立兵庫あおの病院名誉院長 栗栖 茂
			演題 救急医療現場からのアドバイス
			演者2 神戸大学血管外科 准教授 高橋宏明
			演題 低侵襲心臓手術について
			演者3 新須磨病院創傷治療センター
			センター長 北野育郎
演題 糖尿病患者さんの足を守る			
11月18日	レンタルスペース ジェム	70名 (8名)	第29回健康寿命延伸セミナー
			演者1 神戸大学医学部糖尿病・内分泌内科
			教授 小川 渉
			演題 変わりゆく肥満症診療
			演者2 神戸大学呼吸器外科 教授 眞庭謙昌
			演題 最新の肺がん治療
			演者3 トータルブレインケア代表 河越眞介
演題 脳体力を鍛えてフレイル・認知症予防			

< 効果と成果 >

日本は世界有数の長寿国ではありますが、WHOが「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義している「健康寿命」と平均寿命との間は、男性で9年、女性では12年の差が生じております。

この差を少しでも少なくすることが、医療費の大きな節減にもなり、社会保障制度の継続にもつながることから国の大きな課題となっております。このためには、一人一人が疾病に対する正しい知識を身に着け、健康に対する意識を高めることが大切です。この目的に資するため神戸健康大学では定期的に継続して「健康寿命延伸セミナー」を開催しております。今回対象となっております2回のセミナーでは、6名の専門医より、命を守るための救急医療の知識、低侵襲心臓手術、糖尿病患者さんから足を守る、認知症について、肥満を治せる時代を迎えて、最新の肺がん治療、フレイル・認知症の予防、についての最新の知識をお伝えいただき、参会者の皆様それぞれに健康に対する認識が高まったものと確信しております

< 今後の展望 >

今後も「健康寿命延伸セミナー」を継続して年3回程度開催してまいります。

今後の展望としては、従来通り最先端の疾病に関する知識をそれぞれの専門の先生にお伝えいただくことが重要と考えておりますが、採択委員会のご指摘の通り一方通行の情報発信に終わらず、参会者のご意見や要望を取り入れるようにしてまいります。現在、感想をアンケート用紙で頂いておりますが、あまり活用していなかったと反省しております。また参加者の層をもっと広げる必要があると考えております。職種や年齢層の拡大のための広報活動の見直しが重要と考えております。資金の調達も重要な課題で、助成金だけに頼らず、寄付や協賛の受け入れ方法など、研究していくことが重要と考えております。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	400,000
事業収入	20,000
自己資金	734
合計	420,734

(支出)

区分	項目	金額(円)	左のうち 助成対象金額(円)
直接 経費	アルバイト賃金	105,000	105,000
	謝金	80,000	80,000
	委託料	65,330	65,330
	その他(会場費等)	65,356	65,356
	小計	315,686	315,686
間接経費(一般管理費)		105,048	84,314
合計		420,734	400,000